



第81回 JF 米国研修のご案内

10月14日(土)～21日(土)

ロサンゼルス・サンフランシスコ(6泊8日)

一般社団法人日本フードサービス協会
会 長 近藤正樹
副会長/教育研修委員長 谷澤公彦

米国フードサービス市場はパンデミック以降、新サービスやテクノロジーの導入に力を注ぎ、いまや9970億ドルとコロナ禍以前よりもマーケットが拡大しています。本研修では外食の変化のみならず、ネット通販との競争が激しさを増す小売業や中食市場のトレンドを把握し、米国の食のマーケットを俯瞰的に捉えます。国内の外食産業の行く末を見据え、各業界・業態における最新の消費トレンド・ビジネスモデルを探る機会にして頂きたいと思っております、日本に先駆けてウイズコロナ政策を進めた米国外食産業の現状を視察し、米国フードサービス市場で起きている変化を体感します。

なお、出発・帰着は羽田空港となります。

●研修テーマ 国内市場回復の起爆剤となる米国のビジネスモデルを探る

●研修の主なポイント

- ◎9970億ドルの市場規模を持ち、コロナ禍以前よりもマーケットが成長した米国外食市場の視察
- ◎米国の様々な業種・業態のレストラン、パンデミック以降の変化の把握
成長著しいファーストフード・ファーストカジュアル・カジュアルレストラン・ファインダイニングの重点視察、新サービス・テクノロジー(システム・アプリ等)の進展
- ◎特色の異なる食品小売施設の競合・共存
全国チェーンのグローサリーストア、高級デリ専門店、レジなし小売店(Amazon Fresh)、スターシェフの名前を冠したフードマーケット、グルメスーパー、オープンキッチン・飲食スペース併設のグロースラント(グロサリーのレストラン)、ディスカウント食品スーパー等
- ◎最近の消費者ニーズの動向と外食企業の問題意識
SNS・モバイルオーダー・デリバリーの活用、消費者ニーズの多様化に対応したメニュー・食材(地産地消・フリーフロム・サステイナブル・オーガニック・ヴィーガン・フェアトレード等)、安全安心の訴求、日本食レストラン・食品市場の拡大、人手不足で変化する店舗オペレーション、人件費・食材費・光熱費・システム費・賃料等の高騰、観光客対応等
- ◎ESG(環境・社会・ガバナンス)・SDGs・CSRの取り組み、法規制への対応
- ◎ホスピタリティを重視した従業員教育

●申込締切日 9月14日(月)(定員に到達次第、締切らせて頂きますのでご了承下さい)

●参加費用 会員 お一人様価格 **498,000円** (エコノミークラス・2人部屋の場合)

会員 お二人様目以降・非会員価格 **598,000円** (エコノミークラス・2人部屋の場合)

※燃油サーチャージ・空港諸税込み価格(国際線はJALを予定)

☆☆☆ **オリエンテーションセミナー** ☆☆☆

研修が効果的・効率的に行われるため、テキストと地図、スライド等による事前セミナーを開催。
遠方からご参加の方もご出席をお願い致します。お申込み頂いた方には改めてご案内申し上げます。

10月4日(水) 14:00～17:30 JF センター会議室 (東京都港区浜松)

研修スケジュール

スケジュールは予告なしに変更される場合があります。

	日付	訪問都市	主な行動予定		
1	10月14日	土	東京(羽田)発		
		ロサンゼルス着	羽田空港14時頃集合 結団式・出発前説明会 クイックサービス激战区/ディナーレストラン視察 日本食レストラン経営者による講演(現地セミナー)		
2	10月15日	日	ロサンゼルス 大都市圏	外食各業態(ファーストカジュアル、カジュアルレストラン、 ファインダイニング、日本食市場等)成長チェーン視察、 郊外大型SM/フードコート視察、青空市場(マルシェ)視察、 中食・小売市場(レジなしスーパー、グルメスーパー等)視察、 多様な注文形態(テイクアウト・デリバリー、ドライブスルー、 モバイルオーダー、タッチパネル等)の視察、企業本部訪問等	
3	10月16日	月			
4	10月17日	火	ロサンゼルス発	サンフランシスコ着	現地セミナー/ディナーレストラン視察(厨房見学等)
		サンフランシスコ着			
5	10月18日	水	サンフランシスコ	外食朝食マーケット/ベーカリーカフェ視察 トレンディー(地産地消・SDGs・環境配慮・ナチュラル志向・ ヴィーガン対応等)レストラン、人手不足対応等の視察	
6	10月19日	木			まとめセミナー、自由視察
7	10月20日	金	サンフランシスコ発	サンフランシスコ空港から羽田空港へ(機内泊)	
8	10月21日	土	東京(羽田)着	羽田空港16時頃到着	

◎ 訪問都市

1 ロサンゼルス大都市圏

「LAダウンタウン」内の一角で日本食レストラン・スーパーマーケットが立ち並ぶ「リトルトーキョー」があるダブルツリーホテルを拠点に、トランス、ビバリーヒルズ、アメリカナ・アット・ブランドなど特色の異なる地域で、ファーストフード、ファーストカジュアル、カジュアルダイニング、ファインダイニング等、外食各業態の成長ブランドを視察します。

物価の高騰が著しく、かつ人手不足が深刻な米国では、外食チェーンやスーパーマーケット業態でモバイルオーダー、KIOSK 端末、コンタクトレス決済、宅配代行アプリ等、テクノロジーを駆使することで販路の拡大や店舗の省力化に取り組んでいます。いち早くウイズコロナ政策を進め、成長基調が続く米国フードサービスで起きているビジネスモデルの変化に注目し、今後日本で拡大していくサービス等を見極めます。

そのほか、大型ショッピングモールのフードコートのほか、健康志向で若者にも人気のある高級グルメスーパーから低価格帯のスーパーマーケットまで客層の異なる店舗を視察し、外食の競争相手となる中食市場の取り組みを学びます。

そして、環境意識の高い米国消費者行動のトレンドとして定着している“地産地消”の一例として、地元住民や高級レストランのシェフも買い付けに訪れるハリウッドのファーマーズマーケットを見学します。カリフォルニア料理に欠かせない多様な生鮮食材の視察と、目の前で調理されるできたての商品を試食します。

さらに、米国の食生活の一部として根づいている日本食市場にも着目し、競争の激しいロサンゼルスを中心部で長年にわたり日本食レストランを続けてきた日本人経営者からその秘訣を伺い、米国外食市場の経営環境の変化や最新のトレンドについて話を伺います。そのほか、スーパーマーケット内で多店舗展開に成功した寿司チェーンや日本食品売場・日本食レストランの視察も行います。

2 サンフランシスコ

ITの巨大企業と成長中のスタートアップがひしめき合うサンフランシスコでは、さまざまな国や地域の料理が楽しめるだけでなく、最新鋭のシステムを使った新たなサービスが生まれ、飲食のシーンでも世界をリードする流行の発信地となっています。人々のライフスタイルやメニュートレンドに影響を与える著名シェフ監修のディナーレストランを訪れ、トレンドメニューやサービス・雰囲気を感じ、厨房見学やレストラン幹部とのQ&Aを通じて、現地のレストラン事情を伺います。

◎ まとめセミナー

研修最後の“まとめセミナー”では、食に関わる様々な視点を持つ参加者が米国で学んだ各自の“気づき”を発表し、全員で共有することでJFならではの研修の成果を高めます。

《J F 米国研修参加者の声》

- *多くの企業担当者と人材交流を深め、関わりを持てたことが最大の成果。研修後も外食産業の成長に繋がる意見交換を継続していきたい。
- *食に携わる多様な業種・業態の参加者とあらゆる角度から捉えた話を聞くことは、物事を多角的に視る上で大変参考になる。日常業務から離れ、固定観念にとらわれない柔軟な考えを養う時間を持てたことは貴重な人生経験となった。
- *米国と日本の食文化・サービスに対する考え方の違いを肌で直接感じることは大きな刺激となる。それぞれの国が持つ長所を自覚することは、自社の商品・サービスを向上させるためのヒントが浮かび、改善すべきことが自ずと見えてくる。
- *米国の接客サービス・ホスピタリティ・コミュニケーション能力は群を抜いている。自社の店舗にも取り入れたいと強く感じ、新たな目標を設定することができた。
- *経営者から店長まであらゆる階層の参加者と同じテーブルを囲み、忌憚なく意見を交わすことができる研修は大変貴重で自身の成長に大きくつながったと感じる。

募集要項及び旅行条件

- 参加費用 **¥498,000円** (会員 お一人様価格)
¥598,000円 (会員 お二人様目以降・非会員)

■参加費用に含まれているもの

- 航空運賃／全行程エコノミークラス運賃
- バス料金／空港とホテル間の送迎バス料金及び研修用バス料金
- ホテル料金 (ホテルは、ダブルツリーby ヒルトン・ロサンゼルス・ダウンタウン (ロサンゼルス)、ホテル ニッコー サンフランシスコ (サンフランシスコ) を予定しています。原則2人部屋です。1人部屋ご希望の場合は、**追加料金158,000円**を申し受けます。
- セミナー料金／期間中の各種セミナーの費用、講師代、通訳料等
- 航空手荷物料金／お一人につき受託手荷物2個まで。各個のサイズは三辺の合計が157cm以内で、重さは23kgまで。
- 税金・チップ／団体行動中の税金とチップ
- 燃油サーチャージ／空港税、空港施設使用料／出国税、研修テキスト・資料代
- 参加者の個人的事情等により団体行動を辞退された部分についての経費は返却いたしません。
☆協会にてお一人1000万円までの海外旅行傷害保険(死亡・重度後遺障害のみ)をおかけいたします。

■参加費用に含まれていないもの

- 交通費、飲食代、電話料金、クリーニング代、おみやげ品、持込品にかかる関税、超過航空手荷物料金等、個人的と認められる諸費用
- **ESTA申請料 21ドル** (申請を代理店に依頼する場合は5,140円:質問書をお送りします)
ESTA申請時の米国内の連絡先情報:
(ホテル名) DoubleTree by Hilton Hotel Los Angeles Downtown、
(住所) 120 S Los Angeles St, Los Angeles, CA 90012 (電話番号) 213-629-1200
- 参加者の傷害疾病に関する医療費 (**海外旅行保険への加入を強くお勧めします**)
- 全行程一人部屋追加料金 158,000円
- ビジネスクラス追加料金 (事務局へお問い合わせ下さい)

■その他の旅行条件

- この旅行は現地情勢等によりとりやめることがあります。
- 取消料は、下記の通りでございます。

旅行開始の30日前～21日前	参加費用の 20%
旅行開始の20日前～ 3日前	参加費用の 30%
前々日～前日正午前	参加費用の 50%
前日午後～旅行開始後	参加費用の 100%
- 参加者ご自身及び身廻り品に対して蒙られた損害、損失が次の事由による場合は責任を負いません。
天災、火災、海陸空における不慮の災難、交通事故、政府・公共団体の指令、ストライキ、戦争、暴動、空賊、盗難、詐欺、流行病、隔離、税関規則、その他管理し得ざる理由。
- 視察スケジュールについては、現地の都合により変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

申込方法

申込方法

別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、

- ①顔写真1葉（縦4.5cm×横3.5cm、もしくは画像データをお送りください。）、
- ②名刺1枚、③パスポートのコピー、ならびに英文名刺をお持ちの方はそれも同封して、
申込書の控えを協会 FAX 03-5403-1070 でご送信のうえ原本をご送付頂くか、
E-mail (edu-jf@jfnet.or.jp 宛) でお送りください。

締切日

9月14日（月） ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。

参加費用

10月5日（木）までに全額を下記口座にお振り込み下さい。

りそな銀行 芝支店 普通預金
口座名 JF海外研修旅行
口座番号 1105390

旅券（パスポート）をお持ちでない方は住民登録をしている都道府県の旅券課・旅券センター等に
至急申請して下さい。旅券申請はご自身で行っていただきます。

通常、次の書類が必要となります。

- ①戸籍抄本または戸籍謄本（申請日前6ヶ月以内のもの）・・・・・・・・・・1通
- ②住民票の写し(6ヶ月以内のもの)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1通
住民基本台帳ネットワークシステムで確認可能な方は原則不要
- ③写真(縦4.5センチ×横3.5センチ、背景無地、正面上半身)・・・・・・・・・・1枚
- ④運転免許証、または健康保険証に加えて公の機関が発行した証明書（申請時持参）
詳しくは各都道府県旅券窓口にお問い合わせください。



★お申し込み・お問い合わせ先 (一社)日本フードサービス協会

〒105-0013 東京都港区浜松町1-29-6 浜松町セントラルビル10階
TEL: 03(5403)1060 FAX: 03(5403)1070
担当 岡田・上田・高桑 E-mail: edu-jf@jfnet.or.jp

★旅行企画 ワールドトラベルシステム(株) (観光庁長官登録旅行業第992号)

〒158-0094 東京都世田谷区玉川二丁目21番1号 二子玉川ライズ・オフィス8階
TEL: 03(5491)8564 FAX: 03(5491)8562
総合旅行業務取扱管理者 新井友明 担当 貝沼好之

第81回JF米国研修参加申込書

一般社団法人日本フードサービス協会 宛

FAX 03-5403-1070

E-mail: edu-jf@jfnet.or.jp

2023年 月 日

ふりがな			2023/10/14時点	生年月日 (西暦)	年 月 日
参加者氏名	年令	才			
英文氏名 (パスポートと完全一致)					男・女
勤務先 現在ご勤務中の事業所名 及び住所をお書き下さい。	会社名	ご所属・お役職名			
	英文会社名	英文役職名			
	〒 -				
	電話	F A X			
	メールアドレス(記入必須・フリーメール可)				
現自宅住所	〒 -				
	電話	F A X			
	携帯電話	米国での使用(できる・できない) ※どちらかを○で囲んでください。			
渡航中の連絡先	氏名	続柄			
	住所(現住所と違う場合のみ記載してください)		電話	- -	
	〒 -				
旅券	旅券番号	発行日			
★ESTA(電子渡航認証システム)の申請について ※米国国土安全保障省(DHS)による電子渡航認証システム(ESTA)が義務化されました。 このシステムはビザ免除プログラムの一部で、米国に短期商用・観光目的(90日以下)で旅行するすべての渡航者は、 米国行きの航空機に搭乗する前にオンラインで渡航認証を受けなければなりません。 ※旅行代理店を通じてESTAの申請をご希望される方(別途追加料金5140円)は、別添の質問書にもご記入下さい。					
●ESTA申請済みの方 ⇒ 申請番号 No.					
●ESTA未申請の方		<input type="checkbox"/> ご本人より申請手続きを行う https://jp.usembassy.gov/ja/visas-ja/esta-information-ja/ ※申請料として21ドル掛かります ※どちらかに○ <input type="checkbox"/> 旅行代理店を通じて申込む(手数料(申請料含む)として別途5140円の追加料金を頂戴致します。			
過去の海外研修・セミナー	主催団体名	研修・セミナー名	渡航年月	行先(国及び都市名)	
参加経験及び渡航経験					
シングルルーム希望	ホテルでのシングルルームを(希望する・希望しない) ※別途、158000円の追加料金が発生します。				
複数で参加され且つ相部屋をご希望の方は相手のお名前をご記入ください。 ご記入がない場合は事務局にて、決めさせていただきます。					
旅行代理店を通じて、空港までの国内航空券の手配をご希望される場合は、ご記入ください。	希望区間(片道・往復)出発空港名: ~ ※一部路線にて24時間以内に乗り継ぎの場合、国際線乗り継ぎ特別割引運賃が適用されます。 航空券手配後の変更・キャンセルは取消料が発生しますのでご注意ください。 ※時間及び料金、eチケットの発行等について、後日代理店よりご連絡させていただきます。				
JF事務局・旅行代理店からの連絡先について	本人(会社・携帯)・ご担当者	JF事務局・旅行代理店からの郵便物の送付先	本人(会社・自宅)・ご担当者		
ご担当者連絡先	氏名	電話	E-mail:		
	所属・役職名				
	住所(案内物の送付先が参加者勤務先と異なる場合のみご記入下さい) 〒 -				

★申込者(お申込代表者・ご担当者氏名)



★お振込先 = リソナ銀行 芝支店 普通預金 1105390
口座名 JF海外研修旅行

ご参加費 _____ 円は、____ 月 ____ 日に振込予定

★請求書の送付を(希望する・希望しない)

下記書類を必ず同封してください。
 ※データでご提出頂いても結構です。
★顔写真(配布名簿ならびにESTA代理申請に使用します)
★お名刺
★パスポートのコピー
 (申請中の方は後日お送りください。)

配布用名簿に使用する参加者の顔写真(背景無地)を縦4.5cm×横3.5cm位の大きさをのり付けせずに、クリップでとめて下さい。
※データ提出も可

★JF 米国研修にあたって(事前調査)★

より有意義でスムーズな研修とするため、下記項目についてご記入ください。

ご記入漏れのないようご注意ください。

1. ご自身の研修の目的（特に注目したい業種・業態・ブランド名等、または「米国研修のご案内」にある「研修の主なポイント」を参考に、自由に記述して下さい）

2. 関心のあること（ ）内に優先順位 1, 2, 3をご記入下さい。

(1) 業態等

- ① ファーストフード（ ） ② ファーストカジュアル（ ） ③ コーヒーショップ（ ）
④ カジュアルレストラン（ ） ⑤ ディナー（専門）レストラン（ ）
⑥ スーパーマーケット（ ） ⑦ その他（ ）（ ）

(2) 内容

- ① 店舗オペレーション（ ） ② 店舗設備（ ） ③ 店舗デザイン（ ）
④ 商品（ ） ⑤ サービス（ ） ⑥ マネジメント（ ）
⑦ HMR、中食（ ） ⑧ その他（ ）（ ）

(3) 食材

- ① 肉 類（ ） ② 魚介類（ ） ③ 乳製品（ ） ④ 卵製品（ ） ⑤ 野 菜（ ）
⑥ 果 物（ ） ⑦ 穀 類（ ） ⑧ ベーカリー（ ） ⑨ ナッツ類（ ） ⑩ スイーツ（ ）
⑪ 食用油（ ） ⑫ アルコール飲料（ ） ⑬ ソフトドリンク（ ） ⑭ 惣菜・スープ（ ）
⑮ ソース・ドレッシング（ ） ⑯ 調味料・スパイス（ ） ⑰ その他（ ）

(4) その他特に視察したいポイント

3. 日常英会話が できる

できない

★協会にて、無料で一人1,000万円の海外旅行傷害保険（死亡及び重度後遺障害保障のみ）を掛けることに、
ご了承をお願いします（別途任意の海外旅行傷害保険にご加入されることを強くお勧め致します）。

JF 米国研修において、一般社団法人日本フードサービス協会が、海外旅行傷害保険を私に
かけることを了承いたします。

2023年 月 日

氏名 _____ (印)

アメリカ電子と公認証システム (ESTA) 申請データ

下記 (4 項目) に該当する場合必要となります

- ・日本籍含むビザ免除プログラム参加国の国民
- ・90 日以下の旅行である
- ・現在訪問ビザ (観光・業務) を保持していない
- ・商用、観光、乗り換えのための渡米である

注意事項

- ・名前はアルファベットで記入すること
- ・質問事項は全て回答して下さい
- ・2011 年 3 月 1 日以降イラン、イラク、北朝鮮、スーダン、シリア、リビア、ソマリア、イエメンに渡航歴のある旅行者は、渡米前に米国ビザを取得する必要があります (詳細は大使館ホームページ参照)。但し、上記該当国に関する質問への回答 (3-9 以下) によっては ESTA が発行される場合もあります。

必要書類

- ・記入済み質問書 (本書)
- ・パスポートデータ面コピー

日本出発予定日 [年 月 日] (ESTA は発効日から 2 年間有効です)

1 : 申請者情報①

姓 [] 名 []
性別 [男・女] 生年月日 [年 月 日]
生まれた市区町村名 [] 生まれた国 []
パスポート番号 [] 国籍 []
個人識別番号 (Personal ID) []
台湾籍はこの番号がパスポートにないと ESTA 申請が出来ません
パスポートの国籍 []
発行日 [年 月 日] 有効期限 [年 月 日]

現在、他の国の市民権・国籍を持っていますか [はい・いいえ]

「はい」の場合→その国の名前 []

他の市民権・国籍をとった経緯 [出生・両親を通じて・帰化・その他]

「その他」選択時は詳細明記 []

過去に他の国の市民権・国籍を持っていましたか [はい・いいえ]

「はいの場合」→その国の名前 []

期間 [年 月 日] から [年 月 日] まで

2：申請者情報 ②

現在使用している別名・日本名がありますか [はい・いいえ]

「はい」の場合→ [姓 / 名]

国籍以外の国から渡航用のパスポートまたは国家身分証明書を発給されたことはありますか？ [はい・いいえ]

「はい」の場合→発給国 []

発給された書類 [パスポート・国家身分証明書]

書類番号 []

有効期限 [年 月 日]

フリガナ

現住所 []

注意：アパートなどの部屋番号には下線を引いてください 郵便番号 []

電話番号 [] (自宅・携帯・会社)

メールアドレス []

過去 5 年間にSNS を使用使用したことがありますか？ [はい・いいえ]

「はい」の場合→ SNS 内でのアカウント名/ハンドル名等

[Facebook ID:]

[LinkedIn のプロフィールリンク:]

[Twitter ユーザーID:]

[Instagram ユーザーID:]

上記以外のSNS 使用歴があればSNS の名前とユーザーID

[SNS 名 : /ユーザーID :]

あなたはCBP Global Entry プログラムのメンバーですか？ [はい・いいえ] (通常は「いいえ」選択)

「はい」の場合→ PASS ID またはメンバーシップ番号 []

両親の情報 (離婚・死別等で縁が切れていても必ず記入が必要)

父親 姓 [] 名 []

母親 姓 [] 名 []

勤務先情報

現在、あるいは過去に勤務歴がありますか？ [はい・いいえ]

「はい」の場合→ 現在、または直近の勤務先情報を明記

役職名 []

勤務先会社名 []

フリガナ

勤務先住所 []

勤務先電話番号 []

3：渡航情報

米国への渡航目的は乗り継ぎのためですか [いいえ・はい]

→「いいえ」の場合、下記に回答

米国内の連絡先情報

氏名・ホテル名・訪問先企業名 []

住所 []

注意：アパートなどの部屋番号には下線を引いてください

電話番号 []

米国内の滞在先住所は上記と同じですか [いいえ・はい]

→「いいえ」の場合、下記に詳細を記入

氏名・ホテル名 []

住所 []

注意：アパートなどの部屋番号には下線を引いてください 電話番号 []

緊急連絡先（米国内外いずれも可/メールアドレスと電話番号の両方も必須です）

姓 [] 名 []

メールアドレス [] 電話番号 []

4：適格性についての質問（全て回答必須項目）

- 1) 身体的、あるいは精神的な疾病がありますか、あるいは薬物乱用者・依存者ですか。あるいは現在次の疾病を患っていますか。コレラ、ジフテリア、結核、感染症、疫病、天然痘、黄熱病、ウィルス性出熱、エボラ熱、ラッサ熱、マールブルグ熱、クリミア・コンゴ熱等。 [いいえ・はい]
- 2) 他者または政府当局に対して、所有物に甚大な損害を与えるか重大な危害を加えた結果、逮捕または有罪判決を受けたことがありますか。 [いいえ・はい]
- 3) 違法薬物の所持、使用、流通に関するいずれかの法規に違反したことがありますか [いいえ・はい]
- 4) テロ活動・スパイ活動・破壊工作・集団虐殺に参画しようとしたり参画したことがありますか。 [いいえ・はい]
- 5) 自分自身または他者のビザを取得するため、または米国に入国するため詐欺や不正代理行為を犯したことがありますか。 [いいえ・はい]
- 6) 現時点で米国での就労を模索していますか、または過去に米国政府の許可なく米国で雇用されていたことがありますか。 [いいえ・はい]
- 7) 現在または過去のパスポートで米国ビザを申請されたが却下された、または米国への入国を拒否された、あるいは米国入国地での入国申請を取り消されてことがありますか。 [いいえ・はい]
- 8) 米国でオーバーステイしたことがありますか。 [いいえ・はい]
- 9) 2011年3月1日以降、イラン、イラク、リビア、北朝鮮、ソマリア、スーダン、シリア、イエメンに渡航あるいは滞在したことがありますか。 [いいえ・はい]

(1) — (9) の質問が全て「いいえ」の場合→記入はここで終了です。

(1) — (8) の質問に一つでも「はい」がある場合→詳細説明を別紙に記入して下さい。

(9) が「はい」の場合→次のページからの質問に回答してください。

渡航した国名を選択

[イラン・イラク・リビア・北朝鮮・ソマリア・スーダン・シリア・イエメン]

入国日 [年 月 日] 出国日 [年 月 日]

渡航目的を選択して○で囲んで下さい

- ①旅行者として（休暇） ②個人旅行または家族訪問 ③業務
④ビザ免除プログラム参加国政府の常勤職員としての公務
⑤ビザ免除プログラム参加国軍での軍事的職務 ⑥ジャーナリストとしての任務
⑦人道的あるいは国際非政府組織から人道的援助派遣
⑧国際機関または地域的（多国間あるいは政府間）機関からの公務派遣
⑨地方行政機関またはビザ免除プログラム参加国の機関からの公務派遣
⑩学術機関参加 ⑪専門家による交流行事または会議
⑫文化交流プログラム参加 ⑬その他（詳細）

選択した目的の番号に応じて次ページの質問に回答（全て回答必須。英語で記入）

③→イラクに渡航した場合のみ下記に回答（該当する回答が複数ある場合は全て記入）

派遣元企業の名前 []
派遣先企業での正式な役職・肩書き []
上記企業が現在の勤務先と異なる場合、住所と電話番号を明記
住所 [] 電話番号 []
イラク商用ビザの番号 []
現地訪問先企業・組織の名前（訪問先全てを明記）
[]

④・⑤→アメリカ入国時に証拠書類の提示が必要となります

⑥→下記の質問に回答

派遣元企業の名前 []
派遣先企業での正式な役職・肩書き []
米国大使館からIビザを発給されたことがありますか [はい・いいえ]
「はい」の場合はIビザの番号を明記 [] (わかる場合のみ)

⑦ →下記の質問に回答

派遣元の組織または企業体の名前 []
所属する機関または企業体は、「国際連合経済社会理事会」の諮問資格を取得していますか [はい・いいえ]
所属する企業体での公式な役職 []
所属する組織またはビジネス企業体が、この5年間に人道支援目的で米国政府資金を受領した経緯がある場合は、直近の認可番号を記載（ない場合は「なし」） []
従事した活動の種類について詳細 []

他に勤めていたNGO または国際、国家数、州の機関に関して共有したい情報全て（ない場合は「なし」）

[]
その他追加コメントがあれば []

⑧⑨→下記の質問に回答

派遣元の国際（多国間あるいは政府間）機関あるいは地域的（多国間あるいは政府間）機関を特定して明記
[]

派遣元の地方政府または VWP 参加国の機関を特定して明記 []

上記組織・行政内での役職・肩書き []

これまでに米国大使館から G または A ビザの発給をされたことがありますか [はい・いいえ]

「はい」の場合→ビザ番号を明記 [] (わかれば)

これまでに「国際連合通行証」を発行されたことはありますか [はい・いいえ]

「はい」の場合→通行生番号を明記 [] (わかれば)

(⑨のみ) 派遣元の地方政府または VWP 参加国の機関を特定して明記
[]